

# 達増知事の選挙公約を積極的に盛り込んだ

# 2024年度一般会計予算を全会一致で可決



2月県議会一般質問に立つ斉藤県議(2月27日)

「中小企業等賃上げ環境整備支援事業費補助」(1億円)も継続します。最大15万円を直接補助する「中小企業等事業継続緊急支援金」について、昨年度実施された第2弾では、1万件を超える事業者に対し11億円余が交付されるなど大きな役割を發揮しており、継続実施するよう求めました。

自民党政治の下での「失われた30年」といわれる長期の経済停滞について、達増知事は「3回の消費税増税や社会保障の負担増、実質賃金低下で家計の可処分所得が減少し、物価高騰が重なり、県民への影響は非常に大きい」と答弁。岸田政権の5年間で43兆円もの大軍拡については、「金額ありきの極端な議論ではなく、国際情勢や近隣諸国との軍事バランスを調査・分析しつつ、慎重な議論が進められるべき。いま東アジアで求められるのはむしろ軍縮であり、国内的にも国民

の生活を考えた政策を優先していくべきと考える」と答えました。岩手県は、時給50円以上の賃上げをした中小企業に対し、従業員1人あたり5万円を支給する「物価高騰対策賃上げ支援金」制度を創設し、受付が2月5日から始まっていますが、3月25日時点で1250件、8871人分の申請がありました。20人以下の中小・小規模事業者の申請が64%を占めており、全国から注目される取り組みです。また、中小企業者の経営革新を支援し、賃上げの環境整備に取り組み

## 「失われた30年」、物価高騰対策

2月定例県議会が2月14日から3月22日まで開かれ、斉藤県議が一般質問に立つとともに、予算特別委員会では高田一郎県議が総括質疑に立ちました。達増知事の知事選公約を積極的に盛り込んだ2024年度一般会計予算は全会一致で可決されました。

# 全国が注目する中小企業への賃上げ支援

## 自民党のパーティー券・裏金事件を追及

### 大船渡病院の超過勤務手当激減問題

県立大船渡病院看護科の超過勤務が激減している問題を引き続き情報提供するなど解決に全力をあげました。大船渡病院では昨年12月、院長名で超過勤務を正しく申請するよう通知を发出したものの、看護科だけは超過勤務の申請が認められない異常な事態が継続。現場の看護師の切実な声を示しながら改善を求めました。大船渡労働基準監督署は、3月21日付で是正勧告と指導を行いました。また、超過勤務を認めない元締めであった総看護師長は退職となりました。

## 自民党のパーティー券・裏金事件

「しんぶん赤旗」日曜版のスクリーンに端を発した自民党の政治資金パーティーをめぐる巨額の裏金事件について取り上げました。達増知事は「企業・団体献金は、財力により政治を歪ませる恐れがある。選挙で裏金として使われたとしたとすれば、選挙の正当性を覆すような大問題」と述べました。22年4月16日に開催された自

### 皆さんと力を合わせて実現しました

- 時給50円以上の賃上げに対し1人5万円、上限100万円を補助する物価高騰対策賃上げ支援金を創設(12月補正。経済対策)。
- 新型コロナ対策で、下水中のウイルスを検査・監視する下水サーベイランスを実施。
- 県立大船渡病院の超過勤務手当激減問題で大船渡労働基準監督署が是正勧告。超過勤務を認めない元凶であった総看護師長は退職。
- 新婚世帯の新居居住費用等の支援を行う市町村に対し県独自に10万円の上乗せ補助。市町村が行う産後ケア等の利用促進や子どもの遊び場整備に要する経費を補助。
- 県有施設の脱炭素化へ、今年度は県福祉総合相談センターと県民生活センターの合築による整備、2施設でZEB ready化。29施設でLED照明を導入。公用車8台をEV化。
- 「言語としての手話を使用しやすい環境の整備に関する条例」(岩手県手話言語条例)が成立。

民党県連の政治資金パーティーについて、政治資金収支報告書でパーティー券の購入者数や支払先ホテルが違っているなど虚偽記載の問題を追及。自民党県連は、20年・22年の政治資金報告書の訂正を行いました。これは虚偽記載を認めた「自白」というべきもので、訂正したから済むものではないと厳しく指摘しました。

また、22年の会場費は133万円余となっていますが、飲食なしの場合、会場費は最大66万円だと指摘。20年のパーティーは飲食有りでも153万円、過大な会場費ではないかと指摘しました。さらに開催費381万円の中には県内各支部への交付金165万円が含まれており、パーティー収入に応じたキックバックの疑惑を指摘。それを除くとパーティーの利益率は88%で、パーティー券は企業・団体献金そのものだと批判しました。

県民と心ひとつに  
日本共産党  
斉藤 信の  
県政報告

2024年4月 No.187

発行: 日本共産党岩手県議団事務局

斉藤信事務所 TEL. 019(651)1241  
〒020-0015 盛岡市本町通2-10-6

日本共産党控室 TEL. 019(629)6050  
〒020-0023 盛岡市内丸10-1

斉藤信  
ホームページ  
saito-shin.sakura.ne.jp



斉藤信事務所  
X(旧ツイッター)  
@saitoshin\_iwate





# 東日本大震災津波13年一 小池晃書記局長が達増知事らと懇談



県庁で達増知事(右)と意見交換する小池書記局長ら

2月15日、日本共産党の小池晃書記局長が来県し、東日本大震災津波から丸13年を迎えるにあたり、達増拓也知事、佐々木拓陸前高田市長と懇談しました。達増知事は、被災地は震災に加え、コロナ禍、深刻な不漁、物価高騰の四重苦にあると指摘し、災害対策を含めた国の支援については「非常事態対応としてとらえ続ける」「支援が引いていく傾向にあるが、再強化することが必要だ」と強調しました。

## 希望者が入れる特養ホームの整備を

第9期介護保険事業計画に関し、第8期の介護給付費準備基金の残高見込みは123億円余で第7期末比21.3%増加する見込みです。引き下げの可能性のあるものの第9期介護保険料は県平均で62円増となる見込みです。第8期の特別養護老人ホームの整備計画は504床でしたが、結果的には260床の整備にとどまりました。第9期の整備計画は393床にとどまっています。2023年4月現在の特養ホーム待機者は722人であり、保険料は天引きされても入りたい特養ホームには入れない貧困な計画となっていることを厳しく指摘しました。

# 再発防止「岩手」モデル策定—盛岡—高事案の解明を



文教委員会で質疑に立つ斉藤県議(3月18日)

県立盛岡みたけ支援学校高等部の通学バスの実現を求める昨年5月以来の保護者の要望に対し、教育長は「一生懸命検討してまいります」「最善の努力は続けます」と回答していましたが、結局新年度からの実施は難しいという、保護者に期待を持たせながら、最後は要望に背を向ける不誠実な対応を求めました。

県立不来方高校の男子バレー部員が自死した問題を受けた再発防止「岩手モデル」策定委員会が1月までに11回開催されました。ところが、昨年10月に開催した第10回の委員会後、外部委員7人のうち5人の連名で、顧問教諭の前任校—盛岡—高事件に関する「調査検証委員会設置」を求め、要望書が県教育長あてに提出されました。その中身は、盛岡—高事件の検証が不十分だという重大な指摘です。その原因は、県教委の調査が学校、県教委関係者など加害者側の調査にとどまったことにあります。しかし教育長は「要望書への対応については、岩手モデルの策定を踏まえ、今後判断していく」という要望に背を向けるものでした。

# みたけ支援学校高等部通学バスの実現を求める

応でした。同校高等部へは新年度22人の進学者があり、来年度も同様の進学者が見込まれています。通学手段は65%が保護者の送迎であり、通学バスの実現は切実な要望です。引き続き強く実現を求めるものです。

## 新型コロナウイルス補助金の廃止やめよ

新型コロナウイルスの感染状況は、12月から増加が始まり、2月14日の定点報告で18・07人となり、クラスター発生件数は1月24日公表の19件、入院患者は1月25日の348人がピークとなる第



予算特別委員会で質疑に立つ斉藤県議

10波の感染拡大となりました。この間要望してきた、下水中の新型コロナウイルスRNA濃度を継続的に測定する下水サーベイランスが2月から実施されています。感染拡大時には県民に積極的に情報発信し、感染防止対策の徹底を求めました。後遺症対策では、県のアンケート調査結果が公表され、「少なくとも2ヶ月以上の症状があった」56%、倦怠感35%、せき34%、就労や就業に「何らかの影響があった」19%などとなっております。後遺症の専門外来と専門相談窓口の設置を求めました。

## 無料法律相談

～弁護士が相談に応じます～  
・5月15日(水)午後6時～  
・6月19日(水)午後6時～  
予約電話番号: 651-5881

## 無料生活相談

毎週土曜日 10時～12時  
場所: 斉藤信事務所

## 2月県議会で採択された主な請願・意見書等に対する盛岡選挙区選出県議の態度 (○:賛成 ×:反対)

案件	斉藤 信 (日本共産党)	上原康樹 (希望いわて)	小西和子 (希望いわて)	軽石義則 (希望いわて)	高橋但馬 (新政会)	吉田敬子 (新政会)	福井誠司 (自民党)	鈴木亜希子 (自民党)	高橋康介 (自民党)	小林正信 (公明党)	村上貢一 (県民クラブ)
2024年度岩手県一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
物価上昇に見合う高齢基礎年金等の改善を求める請願・意見書	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○
2024年度最低賃金引き上げに関する請願・意見書	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
言語としての手話を使用しやすい環境の整備に関する条例(岩手県手話言語条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 1日 新春元旦(自由民主党比例区候補補選) 支部議、党西部後援会(とちぎ)
- 4日 新春街頭宣伝、日本共産党旗開きあいさつ視聴会
- 5日 日本共産党新春のついで、盛岡商工会議所新年交歓会
- 7日 八日町新春訪き、第11回再発防止岩手モデル策定委員会、14・63人団新年会
- 10日 県議会文教委員会
- 11日 県議会特別委員会、県政調査会、建設業協会盛岡支部新年交歓会
- 12日 復興特別委員会
- 13日 消費税増徴防止岩手県民の会
- 14日 岩手県経済会盛岡支会、岩手県新年会
- 15日 第29回党大会視聴会、盛岡地域県立病院運営協議会
- 20日 党若手町新春のついで
- 21日 子育て支援フォーラム、城東地区9条の会
- 23日 岩手県若手県政懇話会、盛岡労働局労働局長対応
- 25日 脱炭素特別委員会倉庫内調査
- 27日 医労連中央委員会、地域総研連続講座不登校問題、盛岡山車推進会65周年式典
- 28日 いわて労働中央委員会、庄子地域後援会新年会、こしの会総会のついで
- 31日 文教委員会倉庫内調査
- 2日 県保健所長と懇談、川久保病院新窓口ナ調査
- 3日 大船渡市議選政策協議検討会
- 4日 盛岡民商新春のついで
- 5日 議連、議案説明会、商工観光政策研究会
- 8日 県政要望者懇話会
- 9日 県立みたけ支援学校校長と懇談、高等部の通学バス問題で保護者とともに県教育長に要望
- 10日 日本共産党県政協議会
- 11日 八日町新年会
- 12日 党全県地方議選研究會
- 14日 議連、自定例県議会開会、小池書記局長を囲むついで
- 15日 小池書記局長が震災復興問題で達増知事、佐々木拓陸前高田市長と懇談
- 18日 大船渡病院看護科の超勤問題で大船渡労働組合、看護士さんと懇談、病院事務局長と懇談
- 21日 一般質問(27日) 県議会本会議代表質問
- 22日 一般質問(27日) 斉藤県議が一般質問
- 29日 文教委員会
- 1日 本会議(23年度補正予算等可決)
- 3日 北上市議選安徳すみ子事務所開き
- 4日 15日 予算特別委員会総括質疑、各部署審査、とりまとめ
- 11日 東日本大震災津波追悼式
- 16日 主濱了氏叙勲記念祝賀会
- 17日 北上市議選応援
- 18日 文教委員会
- 21日 復興特別委員会
- 22日 最終本会議、県政三者懇談会
- 23日 県道天ヶ牛徳田線徳田橋開通式、祝賀会
- 24日 本町支部のついで
- 26日 第12回再発防止「岩手モデル」策定委員会、城東地区9条の会
- 27日 立憲民主党県代表役員表敬
- 7日 日本共産党若手中央委員会報告視聴会
- 6日 女性後援会総会

## 斉藤信のパワフル活動日誌